くらしの豊かさ実感に関するアンケート調査（速報版）

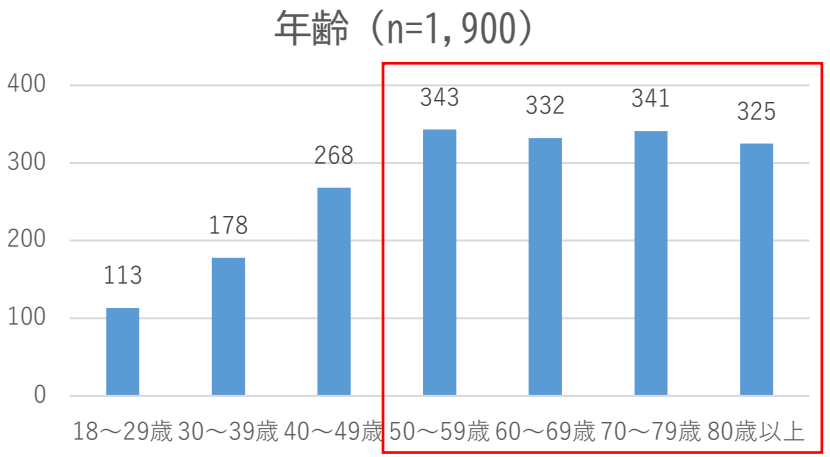
●調査目的

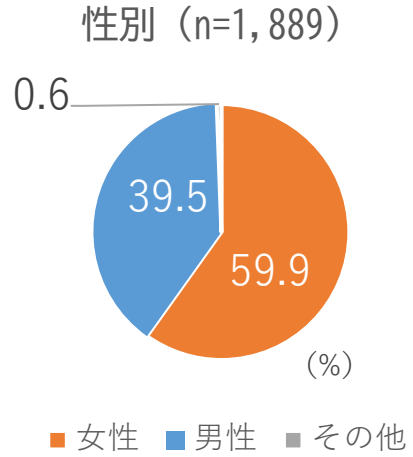
豊中に住む一人ひとりが“豊かに生きること”ができるまちの実現に向け、市民の生活の“豊かさ”の実感について、その実態・要因・効果などを把握・分析し、市民サービスの向上につなげる

●調査概要

①期　間　令和8年6月30日～7月21日
②方　法　郵送で案内。郵送およびWEB回答
③対　象　住民基本台帳から無作為抽出した満18歳以上の市民7,000人
④設問数　35問、選択式、自由記述あり

●回収率　有効回答数1,919件　回答率27.4%





●ウェルビーイングの観点

今回のアンケートは、近年注目されている「個人と社会の良い状態」を示す「ウェルビーイング」の観点に基づいて進められています。

「ウェルビーイング」については、2ページをご覧ください。

ウェルビーイングとは

- ウェルビーイング（Well-being）とは個人と社会の「良い状態」を指す言葉です。近年、社会の状態を、GDPなどの経済指標によって測定される豊かさだけでなく、健康や生活環境、人とのつながりなども含めた人々の全般的なくらしの質の良さの観点から示すために、ウェルビーイングという言葉が使われています。
- ウェルビーイングはくらし全般に関わりますが、一人ひとりが自らの生活や人生についてどの程度「良い状態にある」と感じているかを示す「幸福度」がウェルビーイングの充実を表す重要な指標（社会の状態を測るものさし）になっています。
- 今回の豊中市における調査研究では、豊中市の置かれた地理的環境や基礎自治体の政策との関連から、次の6つの分野について、幸福度との関係など市民のウェルビーイングの実態を明らかにし、今後のまちづくりのための基礎資料とすることを目的としています。
  ①「健康」　②「経済力」　③「仕事（やりがい・通勤の利便性など）」　④「家庭（子育てなど）」　⑤「人とのつながり」　⑥「環境（自然とのふれあい・文化など）」（詳細な調査結果は後日公表予定です。）

これまでの社会の豊かさの捉え方

人口や経済指標など

客観的な量による

ウェルビーイングの捉え方

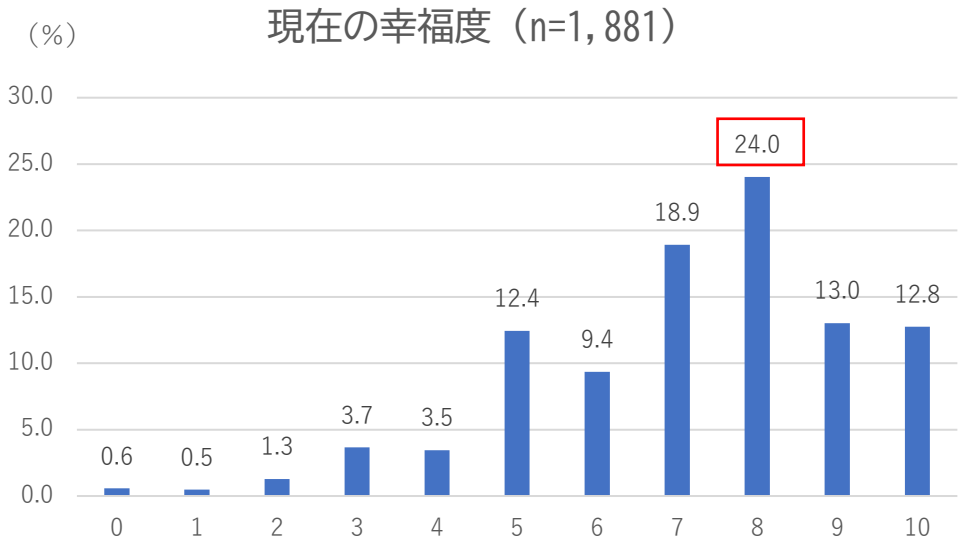
幸福度などの主観的な指標
&
経済や健康、生活環境、つながりなど

主観的な評価、客観的な量の双方を含む

現在の幸福度と５年後の幸福度

【設問】現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点として、あてはまる番号を1つ選び、〇をつけてください。

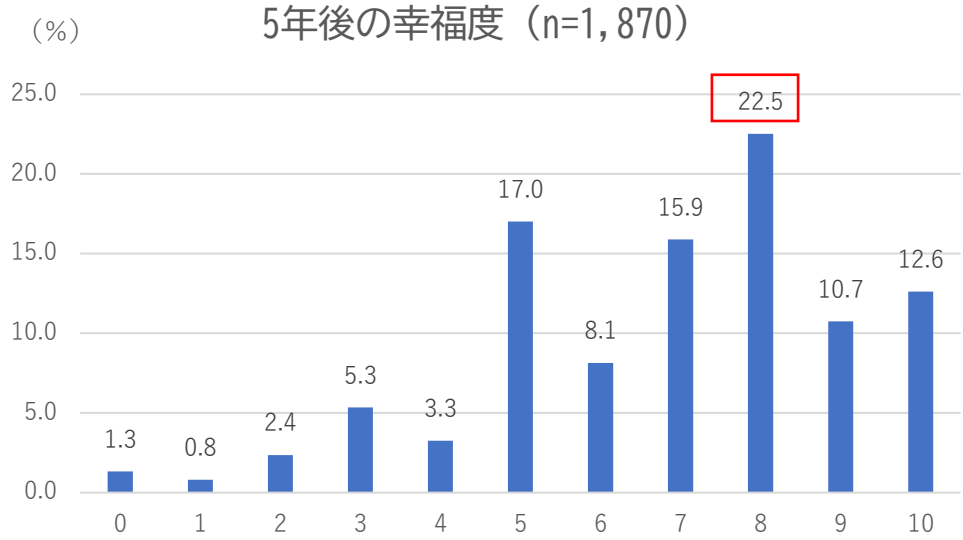
●平均値7.2　最頻値8であり、多くの人が幸せと回答している



（参考）大阪府全域の幸福度　平均6.5　（2026年度）
出典：デジタル庁「地域幸福度　well-being指標」ダッシュボード

【設問】今から5年後、あなたはどの程度幸せだと予想しますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点として、あてはまる番号を1つ選び、〇をつけてください。

●平均値6.8で、年齢が上昇するにつれて、5年後の幸福度は下がっていく傾向



協調的幸福度

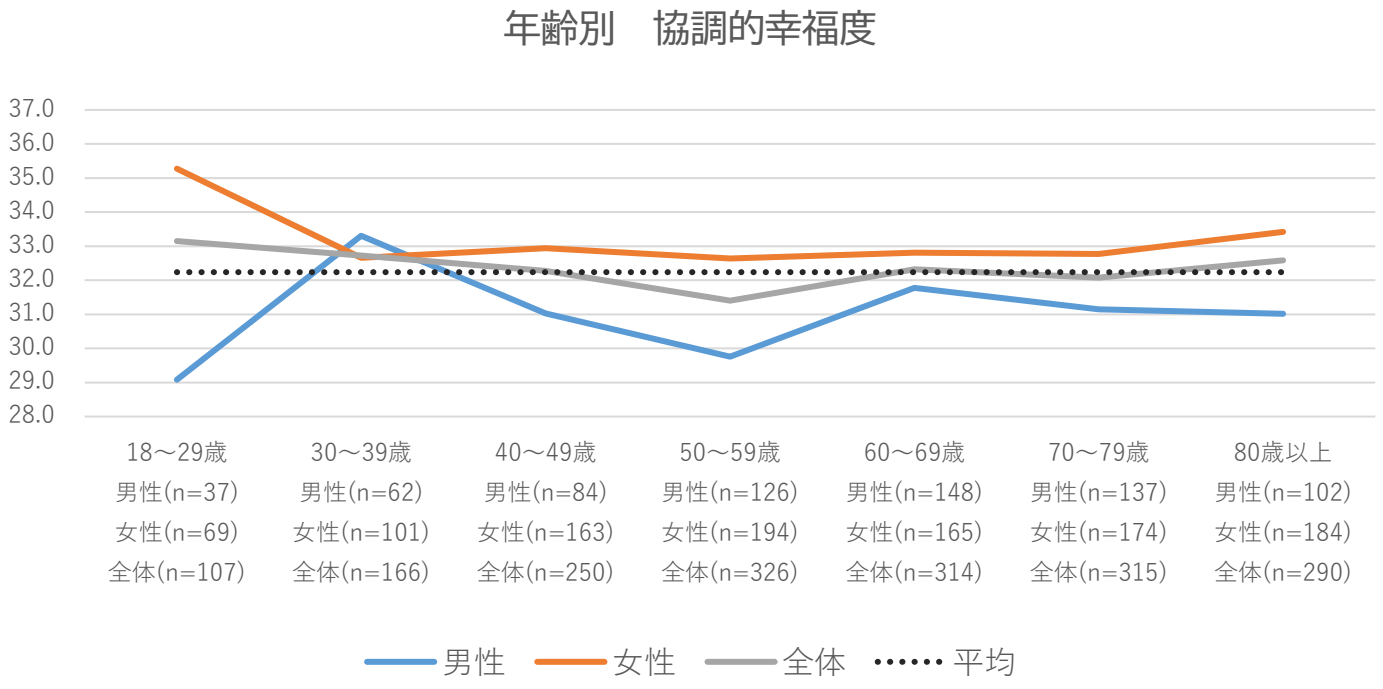
- 日本人の文化的特性を考慮した幸福度の尺度「自分だけでなく、身近な周りの人も楽しい気持ちである」など、他者の幸福を含んだ幸福度
- 9つの問に5段階評価で回答した点数の合計（点数が高いほど幸福度が高い）

【設問】　あなたは以下のア～ケの各項目について、どう思いますか。（それぞれ〇は1つずつ）

ア．自分だけでなく、身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思う
イ．周りの人に認められていると感じる
ウ．大切な人を幸せにしていると思う
エ．平凡だが安定した日々を過ごしている
オ．大きな悩み事はない
カ．人に迷惑をかけずに自分のやりたいことができている
キ．まわりの人たちと同じくらい幸せだと思う
ク．まわりの人並みの生活は手に入れている自信がある
ケ．まわりの人たちと同じくらい、それなりにうまくいっている

《選択肢》
1．全くあてはまらない　2．あまりあてはまらない
3．どちらともいえない　4．ややあてはまる
5．非常にあてはまる

●全体の平均値は45点満点中、32.2点（18歳～29歳で、男女の平均点の差が比較的大きくなっているが、以下でのこの年代のサンプル数では統計的な誤差の可能性がある）

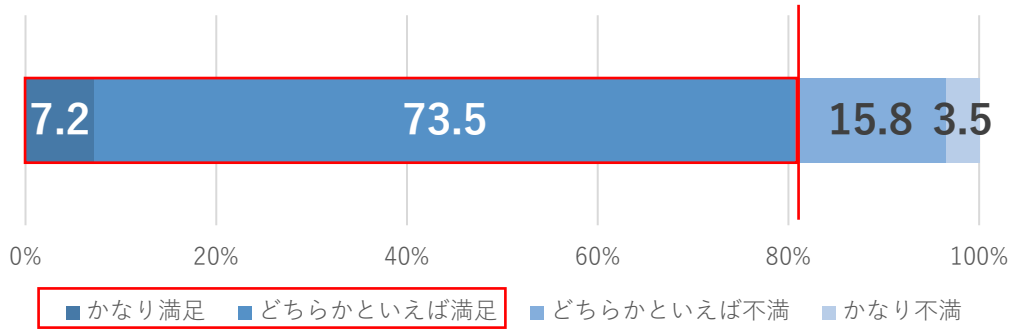


満足度

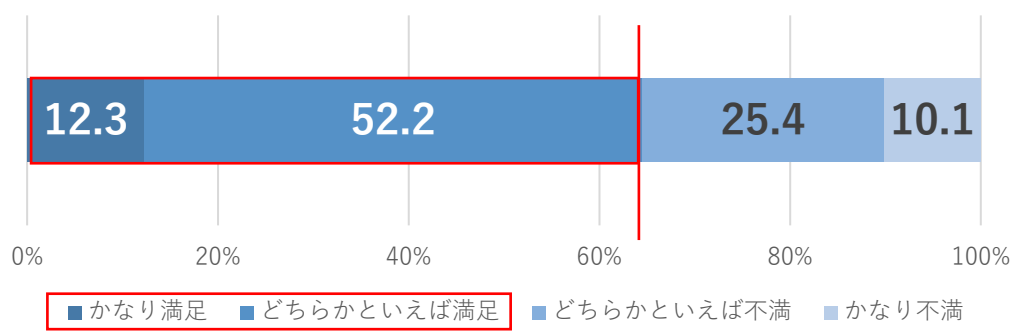
【設問】生活面に関する以下の項目について、あなたはどのくらい満足していますか。
ア～エについて、あてはまる番号を1つ選んで〇をつけてください。
ア　近隣の人びととの関係　　イ　現在の家計の状態　　ウ　仕事（無職の場合は、仕事をしていない状況についてお答えください）　　エ　家族関係全体

- 生活満足度については、どちらかといえば満足以上の人が多い
- 特に、家族関係についての満足度は高い

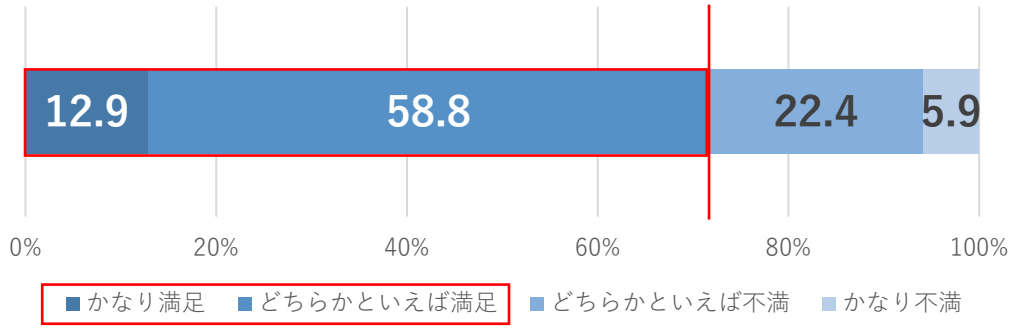
近隣の人びととの関係の満足度（n=1,868）



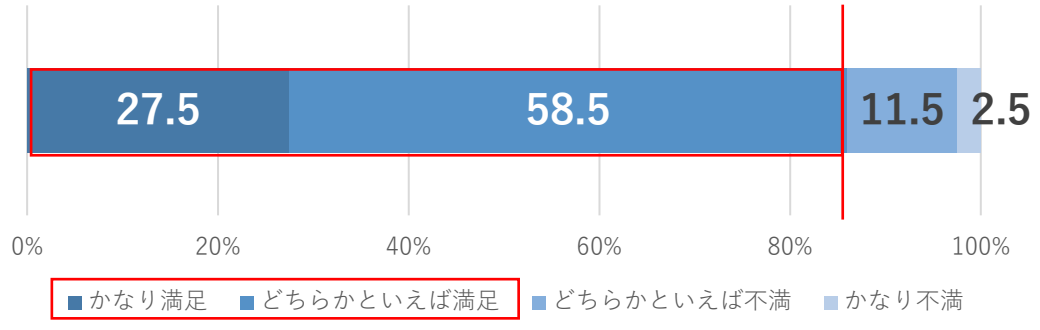
現在の家計の状態の満足度（n=1,872）



仕事の満足度（n=1,802）



家族関係全体の満足度（n=1,846）



●アンケートの項目と幸福度の結びつきの強さについて、相関分析という手法を使った分析など、より詳細な調査結果を公表予定です。